

保全活動日記 vol.25

2018年10月7日(日)



● 保全活動実施報告

● 参加人数：24 名

● 活動内容：多様性の高い二次草原の復元をめざして、南西側草原エリアの草刈りを行いました。大阪府立大学と大阪国際大学の学生が、インターナップとして活動に参加してくれました。

● 実施日：2018年10月7日(日)

● 時間：9時00分～12時00分

● 天気：晴れ

活動実施場所(草原化)

草原エリアでは、多様性の高い二次草原の復元を目指して、年2回の頻度を目標にネザサ刈りとクズの除去を行っています。今回は南西側草原エリアについて、今まで刈り残していたネザサの刈り取りを行いました。その結果、広がりを感じられる草原になりました。次回は、引き続き南西側草原エリアのネザサ刈りを行う予定です。

活動実施場所 ■ネザサ、クズの除去



ネザサやクズを除去し、広がりのある風景をつ



一部のエリアではススキなどが確認できるようになりました。

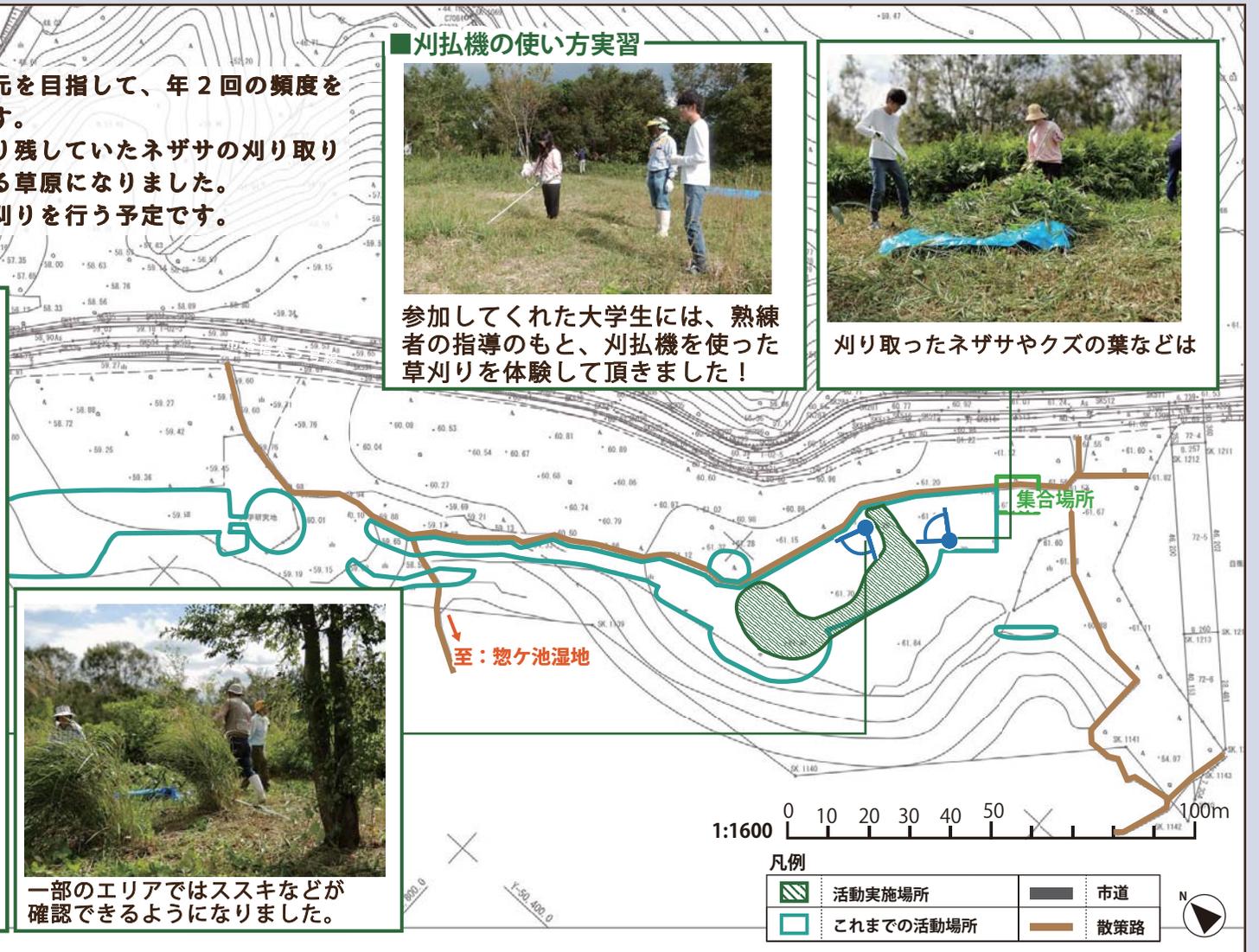
■刈払機の使い方実習



参加してくれた大学生には、熟練者の指導のもと、刈払機を使った草刈りを体験して頂きました！



刈り取ったネザサやクズの葉などは



●里山トピック！

■秋の草原の生き物

＼開けた明るい草原で見つけられます／

＼殻は淡い黄白色で光沢があり、黒褐色の筋があるカタツムリ／



ホシササキリ



クチベニマイ

＼日本のバッタの仲間では一番大きい／



トノサマバッタ



カマキリの卵

＼7～10月に咲くバラ科の花／

ツユクサ
全草を乾燥させたものを生薬で鴨跖草（おうせきそう）といいます。解熱、利尿、解毒などの薬効があるそうです。



オトギリソウ

この草を原料にした秘薬の秘密を漏らした弟を兄が切り殺したという平安時代の伝説が、名前の由来になっているとの説があります。



キンミズヒキ

●クズでつくるツルカゴ

環境保全活動では、除去したクズを使って、ツルカゴを編む取組も行っています。

＼講師である本藤さんから、ツルカゴ編みの技を教わります



■当日は地元の秋祭りも行われ、にぎやかな雰囲気の中での活動でした



隣接する市道信太5号線は地域住民の通行も多い道路です。



富秋町のおみこしです。

▼「信太山丘陵市有地」についての詳しい情報は、市のホームページをご覧ください。

＼ QR コードで読み取り /

＼ 以下のワードで検索 /

信太山丘陵市有地

検索

